

(様式)

令和3年度 陸上競技部の指導方針等について

令和3年6月5日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	森谷 隆	近藤 宏則	柔道整復師・鍼灸師	週1日
副顧問	芳賀 紀久美	小林 惇弥	柔道整復師	週1日
副顧問	江原 康代			
副顧問				

2 年間目標

- (1) 感染予防に努め部内での感染を防ぐ。
- (2) 学校の教育目標に沿い、レベルの高い「文武両道」を強く意識し、高い目的意識を持って、体力のみならず精神面も強化し強い人間をつくるため日々努力していく。
- (3) 心・技・体ともに充実させ、全国大会上位入賞を目指し日々の練習の充実を図る。
- (4) 「駒場スポーツ教室」の実施により、中学生との交流を行う。

3 指導方針

- (1) 健康であることを大切にし、感染予防に全員で務めることができるようになる。
- (2) 練習は週5日を原則として、週2日は休養をとる。休養の期間には十分に体のケアをして、大会や次の練習に備える。
- (3) 年間の競技日程に従い、競技会への準備をする。特に、上につながる大会や、関東レベル、全国レベルの大会には早めに準備を進め、大会に備える。
- (4) 各種目にブロック長を設け、練習内容や他のブロックとの調整をおこなう。
また、上級生は下級生の指導を細かくチェックし、誤りの無いように活動の円滑化をはかる。
- (5) 日常の活動をとおして、協力性や協調性、責任感をもたせる。
- (6) 学習と部活動の両立を図り、部活動を理由に学習を怠ることをさせない。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
学年色を出しながらも、行き過ぎた指導や、暴言をはくような指導は絶対にしない。
顧問、卒業生に何でも話ができる環境をつくり、悩みを出さない活動とする。
- (2) 生徒間の暴力禁止
生徒間においても、行き過ぎた指導や暴力、暴言は許されない。何か問題があれば、顧問をとおして、解決できるようにしていく。
- (3) 外部指導員の活用
理学療法士の資格を持つ卒業生が外部指導員となり、競技面も含めけがの防止、ケアの方法を指導してもらい充実を図る。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	部活動紹介 春季競技会 東京選手権大会（延期） 支部都大会予選会
	5	都大会
	6	学年別大会 関東大会
	7	選抜・1年生大会 「駒場スポーツ教室」（調整中）
	8	インターハイ 夏季合宿 長野県霧ヶ峰 4泊5日
2 学期		夏季競技会
	9	新人支部予選会 新人都大会
	10	強化競技会 関東新人選抜大会
	11	秋季競技会 都駅伝大会（調整中）
	12	「駒場スポーツ教室」（調整中） 都、関東強化合宿
3 学期	1	冬季専攻合宿 千葉県白里海岸 3泊4日 支部駅伝大会
	2	日本ジュニア室内大阪大会
	3	都強化合宿

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度 柔道部の指導方針等について

令和3年4月1日

1 指導体制

顧問教諭氏名		部活指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	矢澤良之	大路歩美 日体大ーJR東日本ー	中高保体教員免許 公認指導者柔道4段、	週 1~2
副顧問	竹花康男	現・榑東光 選手兼監督	I H 2位、I C 3位	
副顧問	田野倉陽二	実業団優勝W杯チェジェ3位	アジアオープン3位	

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を大切にする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に到達すべく日々努力を重ねる。
- (2) 大会等の具体的到達目標
全国・関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
年2回の柔道教室や各種柔道大会の補助役員として生徒が活動する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
稽古は、原則週に5日間、2・5時間とし、効率的に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1~2回程度、競技力を高めるため、合同練習や練習試合等を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識の育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、リーダーシップ等他の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を育てる。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
生徒の心身の発達や個々の体力・技術等を適切に配慮し活動を行う。
- (2) 生徒間の暴力禁止
顧問、部活指導員、生徒、保護者で指導について共通理解を図る。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と部活指導員が話し合い、共通理解を図ったうえで指導を行っていく。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	高体連柔道部総会 生徒会部活動紹介 関東大会支部予選
	5	部活動保護者会（指導方針等を説明） 関東大会東京都予選 高校総体支部予選 高校総体東京都予選
	6	関東大会（群馬県開催） 高校総体東京都予選 国体東京都予選 全日本ジュニア東京都予選
	7	中学生部活動体験入部
2 学期	8	全国少年・少女錬成大会補助役員 夏季合宿（長野県松代を予定） 夏季遠征 全国体育系大会（埼玉県武道館）
	9	学年別大会支部予選
	10	学年別大会東京都大会（1・2年生のみ）
	11	新人大会
3 学期	12	神奈川遠征（武道館チャレンジ）
	1	日体大錬成大会（ニューイヤークップ）
	3	選手権大会支部予選 選手権大会東京都予選 中学生部活動体験入部 選手権大会補助役員 国公立大会 関東体育系大会遠征（千葉県）

令和3年度 剣道部の指導方針等について

令和3年4月21日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	和田 泉	友安 秀徳	剣道六段	週2
副顧問	中山 潤一郎	中嶋 洋介	剣道三段	月1
副顧問	西川 かおり			

2 年間目標

- ・関東大会出場 男女団体
- ・インターハイ出場 男女団体
- ・部訓である「和」をもって、勝つことのみを目的とするのではなく、剣道の修行を通じて、強い心を築き、社会性を養い、他を思いやる心をもつことができるよう心がける。
- ・文武両道を実践し、勉強も部活動の全力で取り組む。
- ・凡事徹底 当たり前のことをしっかりと実践できるよう心がける。

3 指導方針

- ・各種大会・錬成会の参加
高体連主催以外の大学主催の大会などに参加する機会を増やす。東京都のみではなく近隣の錬成会に積極的に参加する。校外の人と触れ合うことで人間としての幅を広げる。
- ・練習内容の工夫
芸術高校体育館を使用することの利を生かし、連続打ちや追い打ちを増やす。
部員自身が目的達成のためにどうするのがよいか論理的に考え、計画をたて実践する力をつける。
- ・昇段審査の受審
日頃から木刀による剣道基本技稽古法、日本剣道形に取り組み、剣道に関する正しい知識を身につけ、昇段を目指す。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	関東剣道大会東京都予選 団体の部 部活動保護者会
	5	関東剣道大会東京都予選 個人の部 全国総体支部予選 団体個人の部 全国総体東京都予選 個人の部
	6	関東大会（埼玉県） 全国総体東京都予選 団体の部 段審査
	7	都立夏季錬成大会（個人段別） 道場連盟大会・少年少女武道剣道錬成大会補助役員
	8	夏季合宿（千葉県勝浦市 2泊3日） 強化練習会 山内旗剣道大会（日本体育大学主催） 高体連主催武道系部活動合同稽古 秋季剣道大会
2 学期	9	高体連普及指導講習会参加
	10	練習試合などへの参加 級審査
	11	第4支部大会 形大会 全国選抜大会予選支部予選
	12	国公立大会（団体） 冬季合宿・錬成会
3 学期	1	全国選抜大会東京都予選 錬成会
	2	武蔵野賞高校生剣道大会（東京学芸大主催） 武蔵大学剣道大会（武蔵大学主催） 段審査
	3	高体連主催合同稽古会 立教杯高等学校剣道大会（立教大学主催） 上智杯高等学校剣道大会（上智大学主催） 増田杯剣道大会（高体連普及指導部主催） 関東高校体育学科・コース剣道大会（関東高等学校体育学科・コース連絡協議会主催） 柴田旗争奪剣道大会（国士舘大学主催）

(様式)

令和 3 年度 サッカー部の指導方針等について

令和 3 年 4 月 23 日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	松本 匡央	川口 貴史	公認 B 級コーチ	週 3
副顧問	北洞 拓郎	山本 勇	本校講師	週 5
副顧問	田口 聡	角南 俊介	東洋大学准教授	週 2
副顧問	外側 淳久	坂本 圭也	公認 GK コーチ	週 1
副顧問	阿部 魁斗	原 玄	本校卒業生	週 2
		高橋 昌之	体協公認トレーナー	週 2
		根岸 直矢	理学療法士	週 2

2 年間目標

関東大会東京都ベスト 8
インターハイ東京都ベスト 8
全国高校サッカー選手権東京都ベスト 8

3 指導方針

個々の技術の向上および人間性の確立
高校部活における生活のプライオリティー (学業・行事への積極性)
生活習慣の確立

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。

(2) 生徒間の暴力禁止

生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

ミーティングの活用

(3) 外部指導員の活用

問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

※ 4 (1) から (3) までの 3 項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期		生徒会部活動紹介
	4	関東大会東京都予選 部活動保護者会（指導方針等を説明）
	5	インターハイ東京都予選
	6	夏季合宿健康診断・保護者説明会
	7	夏季合宿（長野県上田市菅平高原 4泊5日）
	8	強化練習会参加 練習試合、県外遠征
2 学期	9	東京リーグ
	10	高校選手権東京都予選
	11	新人大会東京都予選
	12	基礎体力強化練習
3 学期	1	（全国大会競技補助運営）
	2	地区リーグ戦大会
	3	春季休業中 練習及び練習試合、県外遠征

(様式)

令和 3年度 水泳部の指導方針等について

令和 3年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	小林 利浩	齋藤 寛人	(昨年度) 都立桜修館中等教育学校水泳部活動指導員、本校水泳部卒業生	週1回
副顧問	重松 健	久保 亮輔	理学療法士・日本水泳連盟公認競技役員 競泳C級審判員、本校水泳部卒業生	月1回
副顧問	秋山 樹里	山崎 美穂	和歌山県公立中学保健体育科元教員、本校水泳部卒業生	週5回
副顧問	田中 啓之	黒木 幹平	本校水泳部卒業生	

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会・インターハイ・全国JOCジュニアオリンピック競技会の各競技会決勝出場を目指して日々の練習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日3時間、休日6時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
公式戦近くに、練習成果の確認・大会へのモチベーションを高めるため他校を招いての記録会を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
個人競技ではあるが、チーム駒場として行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行

き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインなどを活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

※ 4 (1) から (3) までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 部活動保護者会（指導方針等を説明）
	5	春季駒場合同記録会 東京都高等学校春季競技会
	6	東京都高等学校選手権競技会（関東大会東京都予選） 夏季全国ジュニアオリンピック東京都予選会
	7	関東高等学校選手権競技会（栃木県）
	8	インターハイ（長野県） 16 高等学校水上競技大会 夏季全国ジュニアオリンピック競技会（大阪府）
2 学期	11	東京都高等学校新人水泳競技大会
	12	合同記録会
3 学期	1	東京都新春競技会
	2	東京都冬季競技会
	3	春季全国ジュニアオリンピック競技会（東京都江東区） 春季強化合宿（宮城県白石町 長水路プール 4泊5日）

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度 硬式野球部 の指導方針等について

令和 3年4月23日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	加藤尚彦	石井 毅	理学療法士	週2
副顧問	中山光			
副顧問	松本高明			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 夏季東東京大会ベスト16、秋季大会予選突破を近い目標とし、最終的には甲子園出場を目指す。

3 指導方針

- (1) 基本的な生活習慣、規範意識の育成
授業、学校行事など学校生活に積極的に取り組み、他の生徒の模範となるように指導する。
- (2) 生徒相互の人間関係の構築
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (3) 学習と部活動の両立
学習時間を確保し、学習と部活動を両立させる
- (4) 練習や試合等の計画
練習は、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。シーズン中（3月8日から11月）は基本的に毎週練習試合を行い、実戦を通して技術の向上、課題の解決を図る。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料（DVD）を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
部員間で暴力による問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問の指導方針を外部指導員が理解し、共通理解のもと指導を行う。
- (4) 事故防止・安全配慮
生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

※ 4（1）から（3）までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介（動画も含む）
	5	保護者会（指導方針等を説明） 練習試合
	6	練習試合
	7	夏季東東京大会
	8	練習試合
2 学期	9	秋季東京都高校野球大会予選 練習試合
	10	秋季東京都高校野球大会本大会 練習試合
	11	練習試合
	12	基礎体力強化練習 栄養講習会兼保護者会
3 学期	1	基礎体力強化練習 他校との合同練習
	2	技術力・体力向上練習 他校との合同練習
	3	春季東京都高校野球大会予選 練習試合

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度体操競技部の指導方針等について

令和3年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	佐藤 崇太	松本 泰孝	体操男子1種審判	年2回程度
主顧問	金子 範子	大越 涼平	体操男子2種審判員	月2回程度
副顧問	一ノ瀬 千晶	石原 琢磨	体操男子 種審判	月1回程度
副顧問		女性	体操女子国際審判	月1回程度
副顧問				

2 年間目標

- ・男女団体にインターハイ、関東大会出場を目標とする。(来年度以降)
- ・学年別、秋季大会、種目別大会においては団体、個人ともに優勝を目指す。

3 指導方針

- (1) 目標に対する課題達成のためのモチベーションを高くもち、短時間に集中して練習を行う。また長期休業中や週休日の練習においては技の習得に時間をかけ、完成度を高める。
- (2) 挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (3) 協調性や責任感を涵養する。
- (4) 学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

※ 4(1)から(3)までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 部活動保護者会（指導方針等を説明）
	5	女子関東予選 男女3年生大会 男子関東大会東京都予選 兼 全国総体予選 男子女子国体予選
	6	関東大会（山梨） 全国総体東京都予選（女子）
	7	インターハイ（新潟） スポーツ教室 夏季合宿健康診断 夏季合宿（筑波大学）
	8	学年別2年生大会（女子） 全日本ジュニア大会
2 学期	9	Dスコア獲得のための技の習得
	10	国民体育大会（三重） 学年別1年生大会（女子） 演技続行練習
	11	男子新人大会（未定） 男子秋季大会（未定） 女子秋季大会 強化練習
	12	高校選抜予選大会（女子） スポーツ教室
3 学期	1	技の習得
	2	部活動保護者会（年間の活動の振り返りと次年度への反映）
	3	全国高校選抜（熊本） 春季休業中 練習及び練習試合 春季専攻合宿（筑波大学2泊3日）

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度 男子バレーボール部の指導方針等について

令和3年 5月 6日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	菊谷 和正	なし		
副顧問	寺島 基稀			
副顧問	斎藤 桂子			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
高体連主催の公式戦予選2日目に進出し、1回戦突破を目指す。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
1年生部員は、在部中に「人間と社会」の企業体験に参加する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質の工夫
練習は、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
11月頃までは、基礎体力と向上と基本プレーの定着に重点を置く。12月以降は練習試合等を通じて、試合運びやチームプレーを学ぶことに重点を置く。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

(4) 事故防止・安全配慮

生徒の心身の発育・発達や体力・技術等を適切に把握して活動計画を立てる。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 春季目黒区大会
	5	関東大会東京都予選
	6	インターハイ東京都予選
	7	夏季合宿健康診断 夏季目黒区大会
	8	夏季都立校大会
2 学期	9	全日本 1 次予選 秋季目黒区大会
	10	
	11	新人大会東京都予選
	12	都立高校審判講習会 冬季休業中 練習及び練習試合 基礎体力強化練習
3 学期	1	
	2	冬季都立高校大会
	3	春季休業中 練習及び練習試合

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度 女子バレーボール部の指導方針等について

令和 3年 4月 10日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	神山 大樹	呉 果恵		週6
副顧問	岩崎 純子	佐藤 一成	理学療法士	月3
副顧問	川口 智美			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会・東京都上位進出を目指して日々の練習に取り組む。
- (3) 地域貢献等の特色ある目標
地域交流を積極的に図るため、高体連主催の大会や地域主催の大会の補助役員として生徒が活動する。

3 指導方針

- (1) 部活動の質の工夫
練習は、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に1～2回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

※ 4(1)から(3)までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	関東予選
	6	関東大会 インターハイ予選
	7	関東体育学科コース大会 夏季合宿
	8	全国体育学科コース大会 山梨遠征
	9	全日本選手権一次予選
2 学期	10	
	11	新人選手権大会
3 学期	1	新人選手権大会
	2	公立校大会
	3	栃木遠征 千葉遠征

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度男子バスケットボール部の指導方針等について

令和3年4月26日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	那須 晋			
副顧問	清水 篤			
副顧問	平山 実			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- (1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像
「文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。
- (2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標
関東大会・全国大会への出場を目指して日々の練習に取り組む。

3 指導方針

- (1) 部活動の質と量の工夫
練習は、原則週に5日間とし、練習時間は、平日2.5時間、休日3時間を基本とし、モチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。
- (2) 練習や試合等の計画
月に3～4回程度、競技力を高めるため都内・他県の強豪チームと練習試合を行う。
- (3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成
挨拶の励行、社会に通用する言動及び行動、自ら進んでリーダーシップが取れ、他の生徒の模範となるようにする。
- (4) 生徒相互の人間関係
チームとして行動していく中で、協調性や責任感を高め、信頼関係を密にする。
- (5) 学習と部活動
学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導
科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料(DVD)を活用して、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。
- (2) 生徒間の暴力禁止
運動部活動の生徒に対して、上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力により問題解決を図ることのないよう、日頃からの指導を徹底する。
- (3) 外部指導員の活用
顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

※ 4(1)から(3)までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活動紹介 関東大会東京都予選
	5	部活動保護者会（指導方針等を説明） インターハイ東京都予選
	6	関東大会（千葉県） インターハイ東京都予選
	7	夏季合宿健康診断・保護者説明会 夏季合宿（長野県南佐久郡北相木村 体育館 4泊5日）
	8	中学生部活動体験入部 練習試合、都内・関東近県への遠征
2 学期	9	練習
	10	新人戦支部大会
	11	ウィンターカップ東京都予選
	12	保護者会 冬季休業中 練習及び練習試合 ウィンターカップ競技補助運営
3 学期	1	新人戦本大会
	2	練習及び練習試合 基礎体力強化練習
	3	春季休業中 練習及び練習試合

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度女子バスケットボール部の指導方針等について

令和3年4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	向井和宏	野田拓司	鍼灸国家資格、AT	週1回
副顧問	永峰寿子			
副顧問	安齋 廉			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

(1) 学校の教育目標を受けた目指す生徒像

「ハイレベルの文武両道」を方針とする本校において、高い目的意識と自ら実践する強い行動力をもって目標に達成すべく日々努力を重ねる。

(2) 競技大会、コンクール、研究発表等の具体的到達目標

東京都ベスト8、関東大会出場を目指して日々の練習に取り組む。

(3) 地域貢献等の特色ある目標

東京都の大会や全国大会の補助役員として生徒が活動する。地域の人々に対するコミュニケーションを積極的に図る

3 指導方針

1) 部活動の質の工夫

目標に対する課題達成のためのモチベーションを高くもち、短時間に集中して行う。

(2) 練習や試合等の計画

月に1～2回程度、競技力を高めるため強豪チームと練習試合を行う。

(3) 基本的な生活習慣や規範意識等の健全育成

挨拶の励行、正しい言葉遣い、自ら進んで進んでリーダーシップがとれ、他の生徒の模範となるようにする。

(4) 生徒相互の人間関係

チームとして行動していく中で、協調性や責任感を涵養する。

(5) 学習と部活動

学習と部活動の両立を定着させるため、家庭での学習時間を確保するよう保護者と連携をとって指導する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

科学的トレーニングやスポーツ理論に基づく指導により、体罰、暴力的指導や行き過ぎた指導のない部活動を展開していく。その際、体罰関連行為のガイドラインや体罰根絶映像資料などを参考に、顧問、外部指導員、生徒、保護者で、体罰・暴言等のない指導について共通理解を図る。

(2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、同級生同士の間で暴力や理不尽な力での問題解決を図ることがないように日頃からの指導を徹底する。

(3) 外部指導員の活用

顧問と外部指導員のそれぞれの役割について基本的な考え方を示し、両者が話し合った上で共通理解を図り指導を行う。

※ 4 (1) から (3) までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	関東大会予選、練習、遠征、練習試合
	5	関東大会予選、練習、遠征、練習試合
	6	総体予選（関東大会）、練習、遠征、練習試合
	7	練習、遠征、練習試合、強化合宿
	8	練習、遠征、練習試合
2 学期	9	練習、遠征、練習試合
	10	練習、遠征、練習試合
	11	新人大会、練習、遠征、練習試合
	12	練習、遠征、練習試合、全国選手権大会補助役員
3 学期	1	新人大会
	2	練習、遠征、練習試合
	3	練習、遠征、練習試合、専攻合宿

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度 硬式テニス部の指導方針等について

令和3年4月17日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	富田 康次郎	蚊口 昌也	上級指導員	週1回
副顧問	高野 祐二		現 TTC テニスコーチ	
副顧問	石川 俊幸			
副顧問	吉田 久仁子			
副顧問				

2 年間目標

高体連インターハイ予選大会東京都ベスト32
同個人戦本戦出場
都立高大会 個人本戦・団体優勝

3 指導方針

- (1) 練習はモチベーションを高く保ち、集中して練習できる環境を作る。
- (2) 挨拶の励行など、基本的な生活習慣や規範意識を高めることにより、他の生徒の模範となるように心がける。

4 指導内容・方法

- (1) 体罰・暴言等のない指導

体罰関連行為のガイドラインや、体罰根絶映像資料(DVD)を活用し、顧問・生徒・保護者間で体罰、暴言などの行為のない指導について共通理解を図る。

- (2) 生徒間の暴力禁止

上級生から下級生へ、又は同級生同士の間で暴力による問題解決を図ることのないよう、日常からの指導を徹底する。

- (3) 外部指導員の活用

外部での講習会などで指導内容を顧問同士で連携を図りながら練習などに還元する機会を設けていく。

※ 4(1)から(3)までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	生徒会部活紹介 関東大会東京都予選（個人）
	5	関東大会東京都予選（団体）
	6	夏季合宿健康診断
	7	都立高大会（団体） 夏季合宿（山梨県南都留郡平野村 4泊5日）
	8	練習試合 目黒区大会
2 学期	9	東京都新人戦（個人）
	10	練習試合
	11	秋季団体戦
	12	城南大会（団体） フジカップ（個人）
3 学期	1	都立高大会（個人）
	2	練習試合
	3	春季団体戦 目黒区大会

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。

(様式)

令和3年度 ソフトテニス部の指導方針等について

令和 3年 4月30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	長谷川佳男	守家善三郎	連盟上級指導者	68時間
副顧問	坂下英治			
副顧問	滝 隼人			
副顧問	田中啓之			
副顧問				

2 年間目標

部員一丸となって、健全な結束力のあるチームを形成し、技術面にあっても、精神面にあっても、駒場高校生に相応しいレベルの実現を目指す。男女とも高体連主催の全ての団体戦予選に参加し、一回戦突破レベルを安定させつつ、予選で3つ勝てるレベルに引き上げる。部員全員が高体連主催の全ての公式戦予選に参加できるレベルを安定させつつ、上位のペアが3つ以上勝ち上がれるピラミッドを築く。

3 指導方針

月1回の定例部会や練習後のミーティングを中心に、部員、外部指導員、顧問間の円滑なコミュニケーションを維持促進して、一体感と透明性の高い指導体制を維持しつつ、暴力によらない合理性の高い科学的根拠に基づく計画的指導を実施し、年間目標の実現に向け継続的に努力する。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

部員のコンディションのに関する情報共有により、指導効果の高さと効率を重視して、非科学的で感情的な姿勢を徹底排除する。

(2) 生徒間の暴力禁止

部員の部活動への着実なコミットを促し、先輩後輩のチームとしてのあるべき姿のモデルを示し、練習の場面などで暴力の否定を実践しながら、チームの団結力育成につなげてゆく。

(3) 外部指導員の活用

経験豊富で研修内容に習熟した指導員の助言助力を得て、不要なストレスをクリアして暴力を排除しつつ結束力の強いチーム作りを目指す。

※ 4 (1) から (3) までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容	
1 学期	4	新入部員の勧誘 連盟登録作業 関東大会男女個人予選戦への最終調整と参加 目黒区・世田谷区春季大会参加	
	5	関東大会男女団体予選戦への最終調整と参加 初心者プログラム ストロークとサーブの基本フォーム 新しいペア組に伴うコンビネーションとフォーメーションの検討	
	6	東京総合体育大会全国総女子体個人予選の最終調整と参加 全東京選手権兼全日本選手権男子個人予選の最終調整と参加 初心者プログラム フットワーク	
	7	全国総体女子団体予選・国体選考会女子個人戦の最終調整と参加 国体選手選考会男子個人予選の最終調整と参加 夏期合宿	
	8	地区大会女子個人・新人大大会女子個人戦の最終調整と参加 新人大大会男子個人戦の最終調整と参加 初心者の公式戦デビューの準備 世田谷区民体育大会高校女子個人戦参加	
	2 学期	9	普及研修大会女子個人戦の最終調整と参加 目黒区秋季大会男女個人戦 世田谷区民大会男女シングルス戦
		10	新進大会女子個人戦の最終調整と参加 世田谷区秋季男子団体戦参加 国公立大会男女団体戦の最終調整と参加
		11	新進大会男子個人戦・新進団体選手権（インドア予選）の最終調整と参加 インドア予選女子団体戦の最終調整と参加
12		世田谷区秋季女子団体戦参加 世田谷選手権男女個人戦参加 基礎体力充実月間～3月	
3 学期	1	世田谷区民大会高校男子個人戦参加 東京都後援世田谷区ソフトテニス連盟主催高校生ソフトテニス研修大会（於駒場高等学校）の実施	
	2	新進男子シングルス大会の最終調整と参加 世田谷区クラブ対抗戦（混合団体戦）参加	
	3	国公立大会男女個人戦の最終調整と参加 新年度の体制作り 基礎体力充実月間終了	

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する

(様式)

令和 3年度 卓球 部の指導方針等について

令和 3年 4月 30日

1 指導体制

顧問教諭氏名		外部指導員氏名	資格等や経験	頻度
主顧問	高山 繁			
副顧問	杉浦忠雄			
副顧問	山崎裕康			
副顧問				
副顧問				

2 年間目標

- ・部活動を通じて心身を磨く。
- ・顧問の指導のもと、新型コロナ対策など安全面の対策を万全にして、幹部の部員を中心として積極的な活動が出来るようにする。
- ・初心者も含め、各大会で1勝でも上を目指して努力する。

3 指導方針

- ・顧問の指導のもと、部員との話し合いを重視した指導を行う
- ・部員の健康・安全に配慮した指導を行う。特に新型コロナ対策を万全に行う。

4 指導内容・方法

(1) 体罰・暴言等のない指導

- ・ミーティング等での生徒との話し合いを重視し、問題等を解決するようにする。
- ・指導にくるOBにも体罰・暴言等のない指導を徹底させる。

(2) 生徒間の暴力禁止

- ・生徒間のトラブルなどは、ミーティングなどの話し合いで解決することを常に部員に徹底させる。
- ・部員間のトラブルには顧問が早期の段階で指導を開始する。

(3) 外部指導員の活用

- ・本年年度は活用しない

※ 4 (1) から (3) までの3項目は、必ず記載する。

5 主な年間計画

学 期	月	内 容
1 学期	4	関東大会予選参加
	5	インターハイ予選参加
	6	国体予選参加（Aクラスのみ的人数限定開催のため参加中止）
	7	夏合宿（感染状況によっては中止する可能性が高い）
	8	国公立大会参加（予定）
2 学期	9	全日本ジュニア大会参加（予定）
	10	新人戦参加（予定）
	11	新人戦参加（予定）
	12	練習試合（予定）
3 学期	1	基礎体力強化
	2	地区別大会参加（女子、予定）
	3	練習試合（予定）

※ 合宿や県外遠征などの宿泊を伴う活動については、必ず記載する。